

4.コース内での教材作成方法（応用）

4-5. Google ドライブを用いた Moodle での大容量ファイル共有方法

MSU Moodle では負荷低減の為ファイルのアップロードサイズを最大 50 MB に制限しております。50MB を越える動画等を Moodle 上で学生たちに共有する方法として大学アカウントの Google ドライブへ保存し、コース内に共有リンクを掲載する方法を説明します。

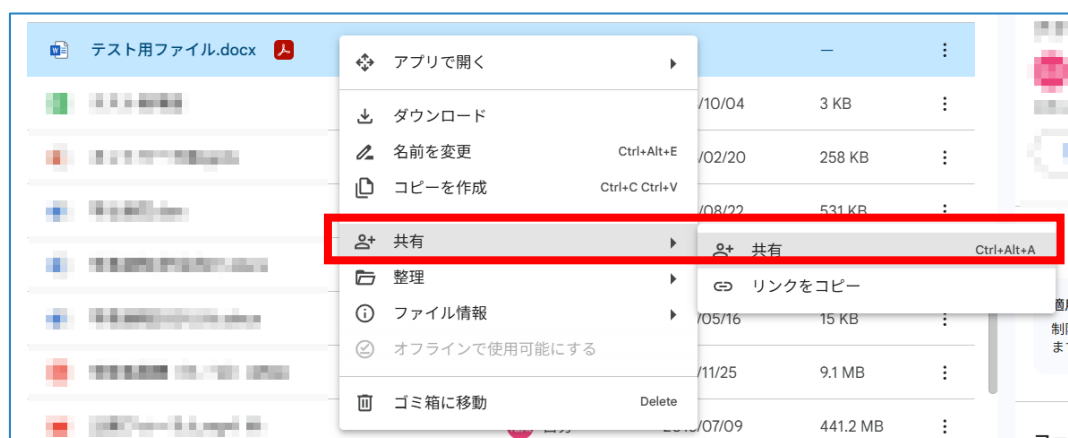
1. Google ドライブへアクセスを行い、左上の『新規』のボタンをクリックしたのち表示される『ファイルのアップロード』をクリックする

※この時講義毎にフォルダを作成しておくとう管理が便利になります

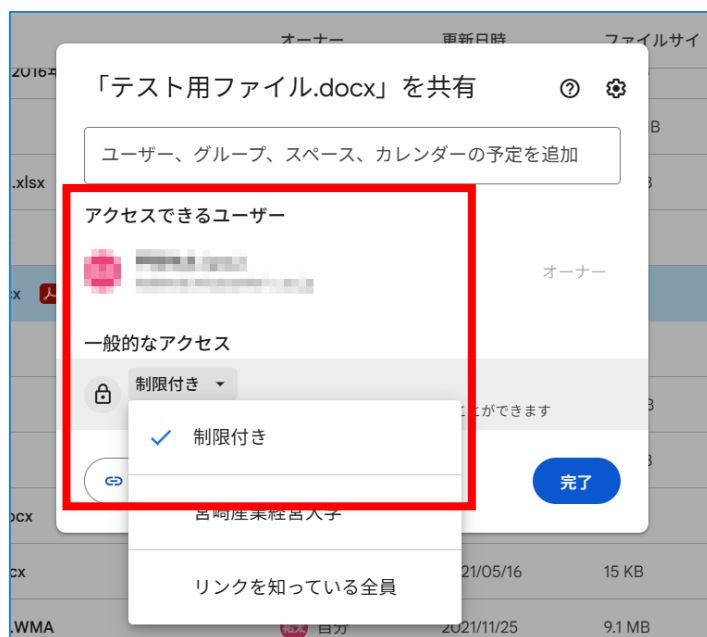


2. アップロードするファイルを選択する画面が表示されるので、共有するファイルを選択しアップロード完了を待つ

3. アップロードが完了したらファイル名を右クリックし『共有』を開く



4. 『一般的なアクセス』の欄を『制限つき』または『宮崎産業経営大学』に設定し、権限を『閲覧者』に設定する



一般的なアクセスの項目の説明

制限つき：	指定されたユーザーへの共有。 学生を1人1人指定する手間がありますが、この方法が一番ファイルの流出を防ぐことができます。 ユーザーの指定方法は共有ウィンドウの上部からメールアドレスを入力する事。 大容量ファイルの共有のたびに入力が面倒な方は手順1 注釈で作成した講義毎のフォルダに共有をかけると、フォルダ内のファイルには自動的に共有設定が継承されます。
-------	--

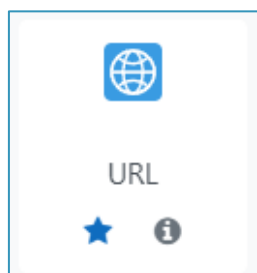
宮崎産業経営大学：	@mail.miyasankei-u.ac.jp のユーザーへの共有。 大学アカウントでログインしているユーザーはファイルの閲覧が可能。 『制限つき』より強制力は弱いが細かくユーザーを指定せずとも学内の人間以外にはアクセスできないようにできるのがメリット。
リンクを知っている全員：	学外の方も含めた共有。 リンクの URL さえ知っていれば誰でもファイルを閲覧する事が可能。 しかしリンク URL が流出した場合誰にでもアクセスが可能なので注意が必要です。 手軽かつログインが必要無いので誰にでも見られても問題ないファイル等の共有できるのがメリット。

5. 『リンクをコピー』をクリックし、『完了』で共有画面を閉じる

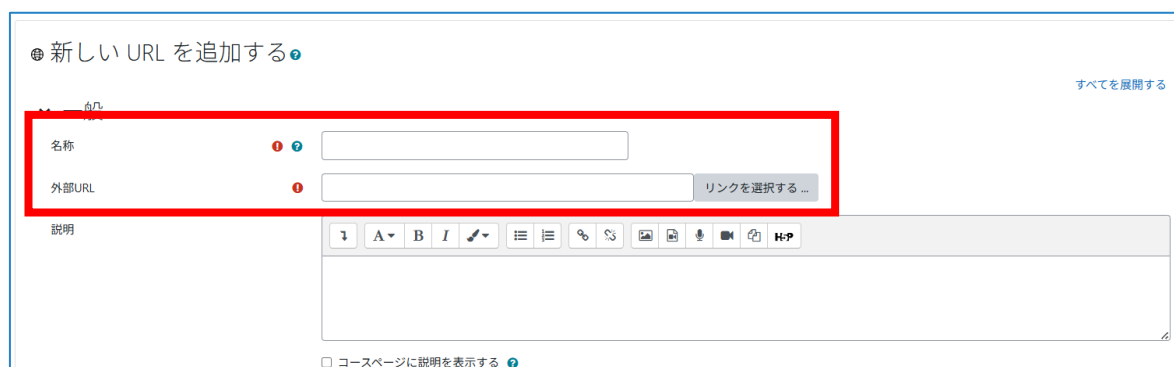


6. Moodle へ移動しファイルを共有したいコースを開く

7. 『活動またはリソースを追加する』で『URL』をクリック



8. リンク名として表示される『名称』を入力し、手順 5 でコピーしたリンクを『外部 URL』へ貼り付ける



9. 表示方法を確認し、『保存してコースに戻る』をクリックする



10. 登録したリンクを学生として開き、ファイル閲覧できることを確認する